情報隠蔽ナンバーワン！年間550件もの事件・事故を非公表！

岸本区長は、就任当初「杉並区を情報公開ナンバーワンの自治体にする」としていました。

年間約550件不祥事を非公表！

杉並区は **年間約550件もの事件・事故を区民に公表していない** ことが、私の質問で明らかとなりました。
その中には、保育園からの子供の脱走、学童でのアレルゲン入りおやつ提供など **「子供の命に関わる事案」**や、**「個人情報の漏洩」**も多数含まれています。
区民の生命や財産に関わる事件・事故を非公表としている岸本区政は、区民に不誠実であり、**情報隠蔽ナンバーワン**と言わざるを得ません。
区民に対して誠実で、透明性のある区政運営を、これからも求めて参ります。

岸本区長の公約達成率水増しが発覚！

岸本区長は、自身の公約達成率を区職員に計算させて区HPで公開しています。

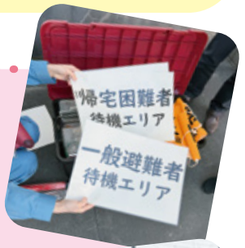
公開された達成率は70.3%としていますが、会派調べでは34.1%にすぎません。

区長が達成とした「区長専用車の廃止」などの公約では、中道改革連合候補者の選挙応援や **前衆議院議員（当時立憲、現在中革連）との新宿個室居酒屋飲み会、立憲民主党の政治集会** に参加をする際、庁有車をタクシー代わりに利用したことが、区議会の場で明らかになりました。
また、区長肝いりの施策であった「区民参加型予算」に至っては、わずか３年で休止。大変お粗末な結末です。それにもかかわらず、公約は達成としています。
こうして区民を欺く姿勢は、行政のリーダーとして不誠実であると感じます。
岸本区政は、**「情報隠匿ナンバーワン」**に加えて**「偽情報公開ナンバーワン」ではないでしょうか。**

公約達成率は34.1%

杉並を、取り戻す。

杉並区の防災施策において、デジタル化が前進！



令和８年度、いくつかの避難所で避難者把握のデジタル化が試行実施されます。（令和９年度に本格実施予定）
避難所における避難者数や避難者属性等の管理が容易になり、災害時支援の適切化・迅速化が可能になります。

防災士の目線で、今後も地域防災力の向上に取り組んでまいります。

今後も、区民の皆様に寄り添い、区議会の場へ声を届けてまいります。

〈プロフィール〉
- 昭和59年9月25日生まれ（41歳）・ねずみ年・てんびん座・A型
- 法政一高・法政大学法学部卒・法政大学法科大学院修了〈法政に10年〉
- 東京都議会議員 早坂よしひろの秘書を7年間務める
- 防災士・宅地建物取引士・趣味：ピアノ・洗濯・プロレス観戦

杉並区議会議員 **わたなべ友貴** 事務所

〒167-0051 杉並区荻窪 5-18-11-202
電話 070-9041-1904 FAX 03-4243-3020
tomoki.suginami@gmail.com

わたなべ友貴 検索
URL: http://tomoki-suginami.com

杉並区議会議員 **わたなべ友貴**

区政レポート

令和８年 春号

杉並区議会自由民主党のわたなべ友貴です。
岸本区政誕生から４年間、「子供の命・安全」が軽視され続けています。
その一方で、岸本区長胆入りの実効性が乏しい事業に多額の税金が使われ続けるなど、恣意的な行政運営が公然と行われています。
私はこうした無責任な岸本区政に対し、正論で対峙してきました。
今回のレポートでは、その一部を紹介しています。
「将来世代へよりよい杉並区を繋ぐ」為、これからも議会の場で発言を続けて参ります。

ここが問題点！

- 「対話の区政」は公約達反の言い訳づくり！？
- 成果のない「対話」に約0億の税金が！
- 年間550件の事件・事故を非公表！「情報隠蔽ナンバーワン」
- 公約達成率大幅水増し！「偽情報公開ナンバーワン」

杉並を、取り戻す。

杉並区議会自民党
杉並区議会議員
わたなべ友貴

わたなべ友貴の視点！

杉並区
令和８年度予算
Q&A

対話の区政に成果なし！

Q 岸本区長就任から４年間。区長が掲げる「対話の区政」の成果はありますか。

A 「成果はない」と私は考えます。そもそも、岸本区長のいう「対話」には問題があります。

Q どんな問題ですか？

A 「対話の場」に **多額の税金が費やされている** にもかかわらず、**「成果」が見えない、ということです。**

Q 多額の税金とは何円ぐらい？

A 岸本区政が誕生してから、いわゆる「対話の場」に関して **約１億 5000 万円の税金が使われています。**

グリーンインフラ推進杉並区民会議なるものを例に挙げれば、参加者１人当たりに約 28 万円もの税金を使っている計算になります。

これは仲間の大和田伸 区議の調査で判明しました。そして、参加者 30 名の満足感以外に、特段成果はありません。

Q 費用対効果は最悪ですね。

A 使われている費用は、全て区民の皆さんからお預かりしている税金です。**自分の治めた税金がこうした事業に使われている、と区民の皆さんが知れば、あきれ果ててしまうと思います。**

岸本区長の公約違反を絶対に認めない姿勢は、本当に無責任だと思う。

Q ほかに問題はありますか。

A はい。「対話の場」が、岸本区長の公約違反の言い訳づくりに利用されている、ということです。

Q どういうことですか！？

A 岸本区長は４年前の区長選挙において、都市計画道路などに反対する区民の支持を得て当選しました。岸本さんの選挙公約は、**「反対意見のある計画は一度立ち止まり、抜本的に見直します」でした。**

Q 計画は見直されましたか？

A 都市計画道路や阿佐ケ谷北東地区まちづくりは、今も区民から反対意見がありますが、事業は進んでいます。岸本さんの選挙公約は、当然実現不可能でした。

Q 失敗を認めないのですね。

A 岸本区長は、公約である「計画の抜本的な見直し」を放棄したにもかかわらず、住民と対話をすることで「地域住民が相互理解を深めることができた」ことを成果として、**公約違反を絶対に認めません。**

Q 区民に対して不誠実ですね。

A これまで岸本区長を好意的に記事にしてきた朝日新聞にすら、『岸本区長は支持者に「失望した」と評価されている』、と報道されています。

Q それは驚きです。

A 「対話の場」が岸本区長の公約達成のためだけに存在している現状に鑑みれば、それは単なる **演出にすぎません。**

Q 岸本さんは、演出家ですね。

A **「対話の場」に参加した区民からは、『岸本区長のイデオロギーにとても誘導的内容であり、行政の在り方としてふさわしくない』との声を複数いただいております。したがって私は、**

演出家岸本さんが大切な区民の税金で作り上げた「対話の場」という作品は、その多くが駄作であったと感じています。

Q そういわざるを得ないですね。

A 行政が区民と「対話」をするのは当然です。そのうえで、**区長の責務は「決断」をすることです。そうした覚悟が、岸本区長には全く見られません。**

私は、停滞した区政を変える必要性を強く感じています。

私は杉並区民のために、今後も議会の場で発言を続けてまいります。

〈杉並区議会自民党〉
杉並区議会議員
皆さまのご意見をお寄せ下さい。
わたなべ友貴（ともき）